

安全データシート (SDS)

1 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名	C S ポリマー
製品コード	

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社名	MU マテックス株式会社
担当部署	営業本部 東京支店 リニューアル営業部 第二営業部
住所	〒105-0023 東京都港区芝浦 1-2-3 シーバンス S 館
電話番号	03-5419-6209
Fax 番号	03-5419-6269
緊急連絡電話番号	03-5419-6206

推奨用途

コンクリートの補修時のプライマーやモルタル混和用に用いられる

使用上の制限

推奨用途以外で取扱いをする場合は、用途・条件に適した安全対策を実施の上、取り扱うこと。

2 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	分類対象外
可燃性又は引火性ガス(化学的に不安定なガスを含む)	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高圧ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入：気体)	分類対象外
急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入：粉じん及びミスト)	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性又は目刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性、単回ばく露	分類できない
特定標的臓器毒性、反復ばく露	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
上記以外で記載がないものは、分類対象外または分類できない	

環境に対する有害性

水生環境有害性(急性)	区分 3
水生環境有害性(長期間)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素**絵表示又はシンボル**

注意喚起語	危険
危険有害性情報	水生生物に有害
注意書き	
[安全対策]	環境への放出を避けること。
[応急措置]	飲み込んだ場合：水で口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水または牛乳を飲ませること。直ちに医師の処置を受けること。被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。 皮膚（又は髪）に付着した場合：多量の水および石鹸で洗い流すこと。水疱、痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受けること。 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。
[保管（貯蔵）]	施錠して保管すること。部外者が触れないような措置を

し、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。

[廃棄]

内容物及び容器を国、都道府県または市町村の規則に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

(メタ)・アクリル系供重合物を含有する中性から弱アルカリ性水系分散液

成分及び濃度又は濃度範囲

化学名	濃度 (%)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	C A S 番号
非イオン型界面活性剤	0.1～10	非公開	非公開
イオン型界面活性剤	0.1～10	非公開	非公開
防腐剤	0.1 未満	非公開	非公開

4 応急措置

ばく露経路による応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水および石鹼で洗い流すこと。水疱、痛みなどの症状がでた場合は、必要に応じて医師の診断を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

水で口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲ませること。直ちに医師の処置を受けること。必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行うこと。被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

(吐かせる場合)

水でよく口の中を洗浄すること。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させ、直ちに医療措置を受ける手配をすること。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業には、煙を吸入しないように注意すること。

特有の消火方法

燃焼源の供給を速やかに止めること。消火作業は、風上から行うこと。関係者以外は安全な場所に退避させること。周囲の設備等に散水して冷却すること。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行うこと。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用すること。消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避けること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。多量の場合、人を安全な場所に退避させること。こぼれた場合はすべりやすいために注意すること。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。

環境に対する注意事項

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ、密閉できる空容器に回収して取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取ること。大量の場合は、土砂等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理すること。スコップまたは吸引機などで空容器に回収すること。

二次被害の防止策

漏出物の上をむやみに歩かない。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い**技術的対策**

取扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。作業場の換気を十分行うこと。保護手袋および保護眼鏡/保護面、保護マスク等の適切な保護具を着用すること。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。取扱う場合は、局所排気内、または全体換気のある設備のある場所で取扱うこと。

安全取扱注意事項	情報なし。
接触回避	情報なし。
衛生対策	取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

保管

技術的対策	換気のよい屋内(5-35℃)で容器を密閉し保管すること。
保管条件	情報なし
安全な容器包装材料	製品使用容器に準ずる。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない。

許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

ACGIH TLV	設定されていない(2010 年版)
日本産業衛生学会	設定されていない(2010 年版)

設備対策

蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置すること。取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

呼吸用保護具	通常の手配りでは特に必要ない。(必要によりアルカリ用防毒マスク。)
手の保護具	不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋。
眼及び/又は顔面の保護具	側板付き保護眼鏡。
皮膚及び身体保護具	長袖保護服

9 物理的及び化学的性質

物理状態	乳白色液体(25℃)
臭い	特異なにおいがある。
pH	7.0~9.0(原液、25℃)
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
引火点	示さず
蒸発速度	情報なし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	情報なし
蒸気圧	情報なし
蒸気密度	情報なし
比重(相対密度)	情報なし
溶解度	水に分散
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
自然発火点	なし
分解温度	情報なし
その他のデータ	粘度: 4~100Pa・s (25℃、原液)

10 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の使用条件で安定である。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	情報なし

11 有害性情報**製品の有害性情報**

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：気体）	分類対象外
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
IARC	認定されていない
NTP	認定されていない
日本産業衛生学会	認定されていない
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

12 環境影響情報**製品の環境影響情報**

生態毒性	(製品のデータ) 情報なし (成分のデータ) fish : LC50=0.7mg/L (非イオン型界面活性剤、SDA) Fathead minnow : LC50(96h)=1.2mg/L (イオン型界面活性剤、類似品のデータ、A. D. Little、Vol 1、Part 2、1991、p. V-6) ニジマス : LC50(96h)=0.19mg/L、ミジンコ : LC50(48h)=0.16mg/L (防腐剤、メーカーMSDS)
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし

オゾン層への有害性	情報なし
他の有害影響	情報なし

13 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

残余廃棄物

内容物を廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。

汚染容器及び包装

空の汚染容器包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

RID (欧州危険物鉄道輸送規則)、ADR (欧州危険物道路輸送協定) に従う。

国連番号	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	国連の分類基準に該当しない。
特別の安全対策	関連法令の定めに従う。 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がない事を確認すること。転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

海上輸送（IMO の規定に従う）

IMDG (国際海上危険物規則) に従う。

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

ICAO-TI (国際民間航空条約技術指針) / IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則) に従う。

国内規制がある場合の規制情報

陸上規制情報	ICAO-TI (国際民間航空条約技術指針) / IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則) に従う。
海上規制情報	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	航空法に定められている運送方法に従う。
緊急時応急措置指針番号	該当しない

15 適用法令

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

消防法	非危険物
労働安全衛生法	表示対象物に該当しない 通知対象物に該当しない
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない
化学物質排出把握管理促進法	指定化学物質等に該当しない
物質登録情報-ENCS (日本)	有り
物質登録情報-TSCA (USA)	なし
物質登録情報-EINECS (EU)	なし
物質登録情報-AICS (Australia)	なし
物質登録情報-DSL (Canada)	なし
物質登録情報-ECL (Korea)	なし
物質登録情報	なし
-PICCS (Philippines)	
物質登録情報-IECSC (China)	なし

16 その他の情報

参考文献

化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) 改訂 4 版

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253: 2019「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するため、現時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。本 SDS は必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、弊社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として、個々の取扱い、用途、用法等の実態に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。